

芸術の都・パリで「丹青伝情—趙丹・趙青父女絵画展」挙行！

フランス 24 代大統領のフランソワ・オランド氏もスピーチ

(一社) 亜細亜経済文化振興協会理事長の黄実氏が司会進行



右から司会を務めた黄実理事長、中国社会経済文化交流協会秘書長の劉彤氏、フランス第 24 代大統領のオランド氏

中国社会経済文化交流協会は、10月26日から30日までフランスの芸術の都パリの Espace Communes で「丹青伝情—趙丹・趙青父女絵画展」を開催した。この絵画展には50点超の渾身の作品が展示され、多くの鑑賞者に強烈な感動を与えた。なお、開幕式はフランス24代大統領のフランソワ・オランド氏も出席してスピーチを行うなど、展覧会の圧倒的な存在感を内外に強く知らしめた。

オランド前大統領は、中華文明と中国芸術を熱愛していることを披歴し、今回の絵画展が内外から高い評価を得ていることを高く評価し、「作品を鑑賞して質の高い中国芸術に接することができた」と感動的に語った。また、中国の芸術家の芸術に対する真摯な姿勢を称賛するとともに、「今回の絵画展がフランスと中国の芸術交流のプラットフォームになり、両国の民間友好交流を促進する絶好の機会となった」と賛辞を送った。

この絵画展の司会進行を務めたのは俳優・舞踊家・プロデューサーとして活躍する(一社)

亜細亜経済文化振興機構理事長の黄実氏だ。同氏は2015年3月に同協会から駐日本国
主席代表に任命された。



2015年春、黄実氏が中心となって日中友好会館で開催した「日中魂の響き～中国現代美術作品展」

この任命を受ける形で同氏は同年4月、日中友好会館で「日中魂の響き～中国現代美術作品展」を開催し、趙青女士を招聘して注目を集めた。なお、この年は著名表演芸術家の趙丹氏生誕100周年に当たった。

また、同年夏に習近平国家主席夫人の彭麗媛さんを来賓に迎え、北京の国家博物館で「丹青伝情—趙青父女絵画聯展」を開催しているが、黄実氏も来賓として出席している。



黄実理事長（右）とフランス24代大統領のフランソワ・オランド氏

なお目下、趙丹・趙青父女のドキュメンタリー映画制作が計画されているが、黄氏は日本側代表として制作に携わるという。黄実氏は「今回の芸術作品盛宴は、芸術作品の素晴らしさに触れるだけでなく、中国の芸術文化への理解を増進し、同時に両国国民相互の理解と交流を促進した」と語った。

この日の開幕式には、協会の秘書長の劉彤、趙青女士の孫娘の劉燕希、同協会会長の姚佳、さらに中国を代表する著名芸術家の李曉玲、パリ中国文化中心主任の嚴振全の各氏をはじめ、趙青女士の作品所蔵家のフェラリー総裁・国際蒸気聯主席などが出席した。

中国社会経済文化協会は、1989年に中国文化和旅游国家一級社団組織として設立された。以来、国内外の社会・経済・文化界で活躍する人士たちが学術・文化交流活動を展開してきた、具体的には海峡兩岸関係の改善、国際聯誼往来、中国現代化事業推進、改革開放服務などだが、その多彩な活動に世界から大きな注目を集めている。

2010年、北京政協礼堂で「和諧時代」年会を開催、2011年、北京の中国美術館で「趙青新舞台油絵展」、2012年、上海の劉海粟美術館で「丹青熠彩趙丹趙青父女画展」、2013年 中国著名舞劇表演芸術家、協会名誉会長、人民芸術家趙丹之女趙青女士、協会秘書長の劉彤が共同で「中国夢・赤子心」文化活動をスタートさせた。

2015年春、黄実氏が中心となって日中友好会館で「日中魂の響き～中国現代美術作品

展」を開催、著名表演芸術家の趙丹氏生誕100周年を記念して趙青女士をイベントに招聘。同年夏、北京の国家博物館で「丹青伝情—趙青父女絵画聯展」を開催している。なお、この絵画展には習近平国家主席夫人の彭麗媛さんが出席している。2018年6月には、全国政協礼堂において中国改革開放40周年記念「中国夢・赤子心」文化活動を挙行している。このほかアメリカ、ロシア、台湾、韓国などでも精力的に巡回展を開催し、世界各国で文化交流活動を展開している。

また、同協会には、全球杰出女性專業委員会、一帶一路建設促進委員会、電影文化芸術委員会、芸術設教育事業委員会、版權工作企業委員会、文化金融委員会、商学研究院、全民閱讀促進委員会、新絲路經濟文化發展中心など多彩な委員会が設置されており、国家的なプロジェクトをさまざまな角度から支えている。

【趙丹】趙丹氏は中国人ならば誰も知らない人はいないと言われる新中国を代表する映画芸術家だ。50の新劇、40の映画に出演した。代表的作品は映画『十字路』『道路天使』『カラスとスズメ』『李時は珍しい』『林則徐』『聶耳』『烈火中に不滅だ』などの不朽の名作に出演している。1995年に中国映画世紀最大の賞「最優秀男優賞」を受賞している。世界映画史上最も偉大な映画芸術家としてその名をほしいままにしている。

1931年、趙丹氏は上海美術専門学校中国画に入学、山水画を専攻した。勤勉に学び続けたが、後に演劇と映画の興味を持ち、生涯、公演芸術の世界に身を投じる。しかし、絵画を放棄することなく、中国の美しい山河に魅了され、伝統的な中国画を創作し続けた。

【趙青】趙青女士は中国が育んだ著名な舞踊芸術家。特に民族舞踊劇の領域では非凡な芸術的才能を発揮した。代表的な舞踊劇には『宝は蓮の明かり』『小刀はできる』『8の女はほめる』『梁は祈る』などが挙げられる。

父の趙丹と趙青女士は正反対の芸術世界を歩んだ。趙青女士は著名な舞踊家として名を馳せたものの、後に絵画の世界に魅せられ、2008年、古希を迎えたときに絵画の創作を始めた。趙青女士の作品は情熱とロマンに満ち溢れており、その創作活動に注目した中国文聯は「中国の夢・赤子の心」という文化イベントをシリーズ化し、アジアにおいては日・韓・台などで絵画巡回展を開催し、好評を博している。

(特約記者：篠原功)